

学びの道しるべ R5

小松市立松陽中学校

1. 全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	平均並み
数学	やや下回る	上回る
英語	やや下回る	上回る

全国との比較においては、国語は平均並み、数学と英語は上回る結果となりました。県との比較においては、国語・数学・英語ともに県をやや下回る結果となりました。

本校の特徴として、基本的な学習内容は概ね理解できていますが、自分の考えを表現したり、複数の資料を合わせて読み解いたりすることについて課題が見られます。また、無解答が多いことも課題です。

2. 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国語
◎話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかを考え正答を選択する問題がよくできていた。
◎具体と抽象、情報と情報との関係について理解し、指定されたまとまりの見出しを書くことができる生徒が大変多かった。
◎歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む問題が大変よくできていた。
△文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握するところに課題がある。情報量の多い内容をまとめて発信する活動を繰り返し、力をつける。
△文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えたりするところに課題がある。文、または文章で答えるということを徹底していきたい。
△考えを書く問題に対しての無解答率が大変高い。授業や日々の課題で書く力を養う課題に継続して取り組み、思いや考えを伝えることへの抵抗感をなくしていく。
数学
◎グラフや式を用いて、時間を求める問題がよくできていた。
◎直線が平行であることを、三角形の合同を用いて証明する問題がよくできていた。
△数学用語を理解できているか問う問題に課題がある。数学用語をきちんと用いた授業展開を行うとともに、発表でも用語を使って説明させるようにしていく。
△累積度数を求める問題に課題がある。表から相対度数を求める問題と混同したと考えられるため、問題文をしっかりと読ませて、聞かれていることを読み取る力を伸ばしていく。
英語
◎選択肢がある問題は、大変よくできていた。
△自分の考えやまとまりのある内容や出来事を英語で書く力が不足している。授業でまとまりのある英文を書く機会を増やし力をつけていく。英文の書き出しを丁寧に指導し、1文目をまず書けるように指導していく。
△書き手の意見を読んで自分の考えを書く問題では、読む力も不足している。まずは、何を問われているかしっかりと読み取る力をつけるために、授業内で長文の読み取りや対話を大切に、少しずつ力をつけていく。

学力とは、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学ぶ力であり、この学力調査は、これらの学力の特定の一部を推し量るものです。

3. 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)

◎今住んでいる地域の行事に参加している、また、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている生徒の割合が高い。

◎朝食を毎日食べていたり、毎日、同じくらいの時刻に起きていたりする生徒の割合が高い。

◎総合的な学習では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した生徒の割合が高い。

△自分にはよいところがあると感じている生徒の割合が低い。

△学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている生徒の割合が低い。

△学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると回答した生徒の割合が低い。

4. 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について

学校での取組

基礎基本の定着に向けて

- ・家庭学習プロジェクトを継続し、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るとともに、現在必要な活用力につなげられるようにする。
- ・Qubenaを活用し基礎基本の定着を図る(授業、家庭学習で活用)。
- ・基礎基本の定着が図られているか、小テストや単元プリントなどを用いて、授業内で確認しながら定着の度合いを測る。

活用力の向上に向けて

- ・ディベート等を積極的に授業に取り入れ、自分の考えを、根拠をもとに相手に説明する力を養う。
- ・複数の資料を正しく読み解き、自分の考えを表現する活動や、既習を活用して表現する活動を取り入れ、表現力を高める。
- ・知識を活用する仕方を学ぶ活動を、授業や日常生活の中で取り入れ、力を付けていく。



その他の取組

- ・自己肯定感を高めていくため、サミット委員主催のSYミッションを継続的に行い、互いを認め合う温かいクラス作りに励む。
- ・生徒が安心安全に過ごせるクラス・学校づくりのための取組を、学活や道徳、日常のあらゆる場面を通して継続して行う。
- ・無解答を減らすため、新聞記事などを用いながら、自分の意見を述べる活動を継続して行う。

ご家庭にお願いしたいこと

- ・お子様とふれあう時間を作り、お子様の学校での様子や現在の関心事、感動や悩みなどをぜひ共有してください。そうすることで、将来への希望が持てたり、自他を大切に思ったりする気持ちが高まります。ご家族とのふれあいはお子様のエネルギーのもととなります。
- ・SNS等の使い方について、ご家庭で約束事を決めてください。また、約束事を決めるだけでなく、安心・安全に使用できる環境を作ってください。お子様に何かあったとき、すぐ相談できるよう見守りをお願いします。
- ・タブレット端末を家庭に持ち帰っています。特に、AIを搭載したQubenaを用いての学習は、基礎基本の定着のために学校でも活用しており、家庭学習でも有効と考えています。また、その他のアプリ等でも学習を進める場合があります。持ち帰りの際の破損やその他のトラブル等でご不安もあるかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。